

シンポジウム3—3)

久松理一(ひさまつ ただかず)

〔略歴〕

1991年3月 慶應義塾大学医学部卒業

1991年4月 慶應義塾大学病院内科研修医

1993年5月 伊勢慶應病院内科

1994年6月 社会保険埼玉中央病院内科

1995年6月 慶應義塾大学病院内科専修医(消化器内科)

1997年6月 東京歯科大学市川総合病院内科 助手

2000年6月 米国ハーバード大学マサチューセッツ総合病院消化器科研究員

2003年10月 慶應義塾大学医学部内科学(消化器)助手(現助教)

2010年10月 慶應義塾大学医学部内科学(消化器)専任講師

2015年4月 杏林大学医学部第三内科学(消化器内科)教授

2019年4月 杏林大学医学部消化器内科学 教授(組織改編に伴い)

2019年10月 杏林大学医学部附属病院炎症性腸疾患包括医療センター長

〔主な専門分野〕

内科学, 消化器内科学, 炎症性腸疾患, 消化器内視鏡学, 消化器免疫学

〔主な学会活動歴〕

日本内科学会評議員, 日本消化器病学会財団評議員, 日本消化器内視鏡学会社団評議員, 日本炎症性腸疾患学会理事, 日本消化器免疫学会理事, 日本臨床免疫学会理事, 日本高齢消化器病学会理事, 日本カプセル内視鏡学会理事, 日本小腸学会理事, 日本大腸肛門病学会評議員, 厚生労働科学研究 難治性疾患政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」研究代表者(令和2-4)